

事業所名：グループホームあすか

作成日： 2021 年 1 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者の皆様の心身の状態、状況等をより詳細にアセスメントし、個々人の性格、経歴、生活様式に即した、きめ細かい援助を行いたい。	より詳細なアセスメントを行うことで、グループホームという共同生活の場でありながらも、その人それぞれの心身の状態、生活様式に応じた生活が送れるように支援していく。	①センター方式D-1[移動:移乗]にADLの詳細②要望、D-2[その他]に行動障害とその原因、対応 ③生活歴、認知症の病型、認知症の評価 ④日課計画表に[本人ができること][留意点]などを追加し、家族と話し合う。	12 ヶ月
2	2	地域の方々とのふれあいの機会として、地域の小学校の運動会などへの参加や中学生の体験実習の受け入れ、保育園児との交流などを考えて行きたい。また、施設の行事へ地域の方を積極的に招待したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学校の運動会への参加 ・中学生の体験学習の受け入れ ・施設行事への地域の皆様の招待 ・介護ボランティアの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小学校、中学校と連絡をとり、学校行事への参加の可、不可の確認を行う。中学生の体験学習についても実施の有無の確認や施設としても受け入れることを伝える。 ・施設行事の際には公民館などに張り出してもらう。 	12 ヶ月
3	35	地震、水害などの自然災害の際は施設自体が地域の避難施設となることも考えられるため、地域の方々とは災害時の対応について話し合いたい。	自然災害時の際、地域の皆様の避難場所として機能するために、設備や備蓄を準備する。	運営推進会議等を利用し、施設が地域の方々の避難場所として機能するために必要な設備、備品について、地元消防団、町内会の方々と話し合う。	6 ヶ月
4				,	ヶ月
5					ヶ月